

RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム

RYUKOKU キャリア・スタート・プログラムについて

本学では、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして全学共通の RYUKOKU キャリア・スタート・プログラムを展開しています。このプログラムは、建学の精神にもとづくきめ細かな実習前後の学修を展開する、本学独自の特色のある教育プログラムです。具体的な内容については、キャリアセンターが毎年度発行する「Internship Program」のパンフレット（※1）を参照してください。

※1 「Internship Program」のパンフレットは、[キャリアセンターホームページ](#)から確認いただけます。冊子等の配付はありませんで、各自ダウンロードして確認してください。

1. プログラムについて

- ① プログラム名称 : RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム（経済同友会・ベーシック・グローバル）
- ② 対象者 : 学部1・2年次生
- ③ プログラム詳細

	実習前	+	実習・実習前後
名称	「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」		「キャリア実習・実習指導」
認定科目名	同上		学部により異なる
内容	金曜日5講時に全15回の講義を開講 働くことを考える・コミュニケーションスキル等		直前学修（6,7月土曜日開講）＋実習（5日間以上） ＋事後学修（9月開講）
実施方法	オンライン		対面・オンライン・ハイブリッド
単位	教養科目 2単位		2単位（学部により異なる）
登録	3～4月：予備登録・履修登録（教学部・各学部）		4～5月：出願（キャリアセンター）
成績	素点評価		G（合格）、D（不合格）評価

④ 受講方法

【3～4月】「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を予備登録及び履修登録する

【4～5月】「キャリア実習・実習指導」参加のため、キャリアセンターが指定する方法で出願

※受講の際は、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の出席状況または単位取得状況を確認します

【5月】 実習先とのマッチング（実習先によって、書類選考・面接選考あり）

【6～7月】「キャリア実習・実習指導（直前学修）」の受講

【8～9月】「キャリア実習・実習指導（実習先での実習）」

【9月】 「キャリア実習・実習指導（事後学修）」の受講

※履修制限、単位認定、成績評価等の資格要件については、[履修要項WEBサイト](#)「(3) 就業体験を伴うプログラム」もしくは所属の学部教務課で確認してください。

※当プログラムの詳細については、以下の方法で確認してください。

1. [Internship Program](#) パンフレット
2. キャリアセンター主催の説明会（4月開催予定）
3. ポータルサイトまたは龍谷キャリアナビ（龍ナビ）に掲載するキャリアセンターからのお知らせ

⑤ 備考

「キャリア実習・実習指導」を受講するためには、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の登録・受講が必要です。

また、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を1年次生に履修し、「キャリア実習・実習指導」を2年次生で履修することは可能ですが、その場合は、1年次生の段階で「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の単位を修得済みであることが必要です。

2. シラバス

[Internship Program](#)パンフレットで確認してください。

3. 定期試験及び追試験受験資格の認定

受入先の都合により、やむを得ず実習期間と定期試験日時が重なることがあります。当該実習と定期試験日時が重なることが判明した場合は、直ちに所属の学部教務課窓口にご相談してください。

なお、RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」の実習期間が本学定期試験と重なった場合の取扱いは、次のとおりです。

本学の 授業科目	RYUKOKU キャリア・ スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」	対応方法	本学の科目 の追試対象	追試受験料
◎	◎	実習を優先する	認める	免除
○	◎	実習を優先する	認める	免除
◎	○	本人の判断により選択可能	認める	免除
○	○	本人の判断により選択可能	認める	免除

◎印は、卒業要件に関する科目（教職課程科目を含む）

○印は、随意科目として扱う科目

4. 注意事項

このプログラムは、実習前後の学修・実習の全てのカリキュラムを通じて、キャリア形成を支援する内容となっているため、原則欠席することはできません。また、途中で辞退することは、実習先（企業・各種団体等）に大変な迷惑をかけることになるため、特別な事情がない限り認められません。

以 上